

## 「イノベーションガバナンス エキスパート養成プログラム」2022年度募集要項

### 1. 講座の目的

本講座は、イノベーションと表裏一体の関係にある「ガバナンス」について、多角的な観点から学び、イノベーションの社会実装を担う人材を養成することを目的とする。

イノベーションを社会に実装するためには、そこで用いられる新しい技術やビジネスモデルが社会から信頼され、受容される必要がある。そのためには、実装しようとするイノベーションが、社会のニーズに合致するインパクトをもたらし、リスクが適切に管理されていることが求められる。そのような状態を実現することが「ガバナンス」の目的である。

一方、変化が早く複雑で予測困難な現代社会においては、ルール・組織・意思決定過程などのガバナンスのための仕組みも、一層迅速、柔軟に運用され、改変可能であることが求められる（アジャイル・ガバナンス）。そのためには、政府だけで設計・運用する、巨大企業が一方的に設定するといったガバナンスではなく、社会の様々な立場にある組織や個人（マルチステークホルダー）が協働と相互評価を重ねて作り上げるガバナンスが求められる。

イノベーションの担い手である企業自身が、他のステークホルダーを巻き込みながら、このようなガバナンスを設計するために求められる視座を得られるよう、本講座では、①実現すべき価値（持続可能性・ウェルビーイング・プライバシー・安全性など）の議論と、②これらの価値とイノベーションを両立させるためのガバナンスの諸論点（ルール・技術・組織の設計、アカウントビリティ確保、紛争解決など）について、関連分野（法律・経営・哲学・システム工学・リスク管理など）における内外の第一線の専門家から、最新動向を踏まえた講義を受ける。そのうえで、課題に直面している現実の事例を取り上げ、受講者自身がガバナンスの仕組みを具体化する。

### 2. 履修によって得られるもの

- ・ 組織として最適なゴールを設定するために検討すべき様々な価値（持続可能性・ウェルビーイング・プライバシー・安全性など）をめぐる最新の議論や価値間の相互関係に関する理解を深める。
- ・ 上記のゴールを達成するため、ルール・技術・組織の設計および運用や、アカウントビリティの確保に関するガバナンスの手法を理解するとともに、これらを組み合わせたガバナンスの在り方に関する理解を深める。

- ・ これらを通じて、既存のルールや政府の政策を所与と受け止めずに、あるべき姿から発想する、新しい技術やビジネスモデルの実装に求められる視座を得る。

### 3. 対象者等

募集人数	15名程度
受講料	50万円（1名あたり・税別）
受講者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業の経営層、幹部候補、公共政策担当者、法務担当者等</li> <li>・ 弁護士、公認会計士、経営コンサルタント等</li> <li>・ 政府、NGO、国際機関の職員等</li> <li>・ 10年以上の実務経験を有することを目安とするが、それに満たない場合でも経歴や実績を考慮して受け入れる場合がある。</li> </ul>

\*原則オンラインで実施する。グループワークは本郷キャンパスまたはオンラインで実施する。

### 4. カリキュラム

\*1回2時間、全12回。日時、講師は変更する可能性があります。

回	日時	テーマ	講師（敬称略）
<b>Unit 0 イントロダクション</b>			
Class 1	10/8(土) 14:00- 16:00	<p>なぜイノベーションにガバナンスが必要か</p> <p>グループプロジェクト対象事例の紹介：自律飛行ドローンシステムのガバナンスデザイン他</p> <p>受講者自己紹介(ガバナンスに対する問題意識等)</p>	<p>宗像直子（東京大学公共政策大学院・教授）</p> <p>羽深宏樹（京都大学法学研究科・特任教授）</p>
<b>Unit 1 ゴール設定</b>			
Class 2	10/15(土) 9:00- 11:00	<p>企業が実現すべき価値は何か</p> <p>「シリコンバレー投資家のゴール設定」</p>	<p>奥本直子（Amber Bridge Partners 代表）</p>
Class 3	10/22(土) 9:00- 11:00	<p>価値のトレードオフとバランス</p> <p>「プラットフォームにおけるコンテンツ管理」（表現の自由 vs プライバシー・公の秩序等）</p>	<p>Michael Fitzpatrick (Director, Global Strategy &amp;</p>

			Innovation, Global Affairs at Google) 長島匡克 (弁護士)
<b>Unit 2 ガバナンスの設計</b>			
Class 4	10/29(土) <del>14:00-16:00</del> 9:00-11:00	イノベーションのための規制改革 「電動キックボードをめぐる規制改革」	岡井大輝 (株式会社 Luup CEO)
Class 5	11/5(土) 14:00-16:00	組織の設計 「行政におけるデジタル・プロダクト・デザイン」	横田結 (デジタル庁・デザイナー (デザインリード))

※11/12 は休講

Class 6	11/19(土) 16:00-18:00	規制の設計：ゴールベース vs ルールベース 「EU のデータ・AI をめぐる規制の分析」	Josef Drexl (Professor, Director, Max Planck Institute for Innovation and Competition)
Class 7	11/26(土) 14:00-16:00	ワークショップ グループプロジェクトの中間報告	宗像直子 羽深宏樹
<b>Unit 3 ステークホルダー間の協働</b>			
Class 8	12/3(土) 14:00-16:00	データと AI 開発をめぐるリスクの分担 「AI とデータをめぐる契約の事例」	福岡真之介 (弁護士・西村あさひ法律事務所)
Class 9	12/10(土) 14:00-16:00	AI サービスのリスク低減 「リスクチェーンモデル」	江間有沙 (東京大学未来ビジョン研究センター・准教授) 松本敬史 (東京大学未来ビジョン研究センター・客員研究員)
Class 10	1/14(土) 14:00-16:00	情報開示とアカウンタビリティ 「外国サーバーにおけるデータの管理」	深水大輔 (弁護士・長島・大野・常松法律事務所)

※1/21 は休講

Unit 4 プロジェクト成果の報告			
Class11, 12	1/28(土) 13:30- 15:30 及び 15:50- 17:50	ワークショップ 各プロジェクトからの最終報告①②	宗像直子 羽深宏樹

## 5. 修了要件

- ・ 講座をすべて受講し、議論に参加し、所定のリフレクションペーパーを提出すること。
- ・ グループプロジェクトに参加し、発表（共同）を行い、レポート（共同）を提出すること。

## 6. 担当教員

- ・ 宗像直子 東京大学公共政策大学院・教授
- ・ 羽深宏樹 東京大学公共政策大学院・プログラムコーディネーター、  
京都大学法学研究科・特任教授

## 7. 予定招聘講師陣（敬称略）

- ・ 奥本直子（Amber Bridge Partners 代表）
- ・ Michael Fitzpatrick（Director, Global Strategy & Innovation, Global Affairs at Google）
- ・ 長島匡克（弁護士）
- ・ Josef Drexl（Professor, Director at the Max Planck Institute for Innovation and Competition）
- ・ 岡井大輝（株式会社 Luup CEO）
- ・ 横田結（デジタル庁・デザイナー（デザインリード））
- ・ 福岡真之介（弁護士・西村あさひ法律事務所）
- ・ 江間有沙（東京大学未来ビジョン研究センター・准教授）
- ・ 松本敬史（東京大学未来ビジョン研究センター・客員研究員）
- ・ 深水大輔（弁護士・長島・大野・常松法律事務所）

他、調整中

## 8. 応募書類

- 1) 願書（様式1）
- 2) 本プログラムを志望する動機（様式2）

## 9. 選考方法

書類にて選考いたします。

## 10. 結果通知

選考の結果を電子メールにてお知らせします。

## 11. 受講料の振込み

ご指定の住所に振込依頼書をお送りします。記載の期日までに納付をお願いします。

## 12. 注意事項

- 本募集要項の記載内容は変更される場合があります。
- 提出された書類の返却、納付された受講料の返金には、いかなる事情においても応じられません。
- 応募により得た個人情報については、受講者の選考、選考結果通知、受講手続き業務、将来の広報のためにのみ利用します。

## 13. 応募方法と書類提出先

書類を、PDF にして E メールにてお送りください。Email： igep[at]pp.u-tokyo.ac.jp ([at]を@に変えてください)

応募締切：2022年9月30日（金）17時

## 14. 問い合わせ先

東京大学公共政策大学院 IG エキスパート養成プログラム 担当  
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 国際学術総合研究棟 1314  
電話： 03-5841-0913

Email： igep[at]pp.u-tokyo.ac.jp ([at]を@に変えてください)